

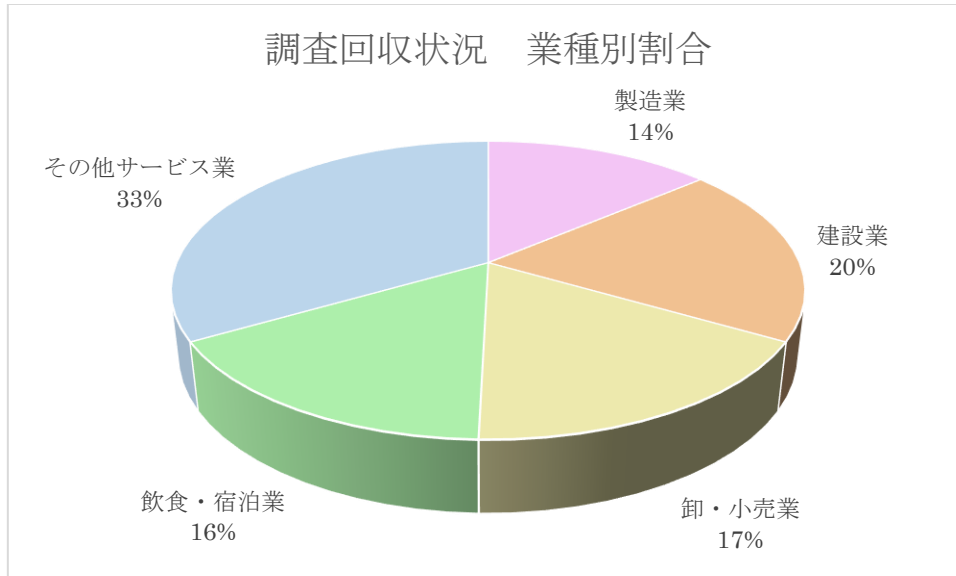
千歳市景気動向調査結果

調査期間：2024年4～6月の実績と2024年7～9月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査対象：千歳商工会議所会員及び特定商工業者

回収状況：123社



DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2024年1～3月）と比較した今期（2024年4～6月）の実績及び、今期（2024年4～6月）と比較した来期（2024年7～9月）の予測、今期（2024年4～6月）と前年同期の比較を掲載しています。

《 全体の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲4.9	↑	8.1 【12.2】	→	12.2
売上	▲0.8	↑	17.9 【9.6】	↑	26.0
採算	▲9.8	↑	▲4.1 【▲13.9】	↑	8.9
原材料	▲68.0	↓	▲74.8 【▲80.9】	↑	▲67.5
資金繰り	▲9.0	↑	4.9 【▲3.5】	→	7.3
労働時間	▲11.5	↑	5.7 【5.2】	→	9.8
雇用状況	29.5	↑	38.2 【35.7】	→	35.8

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

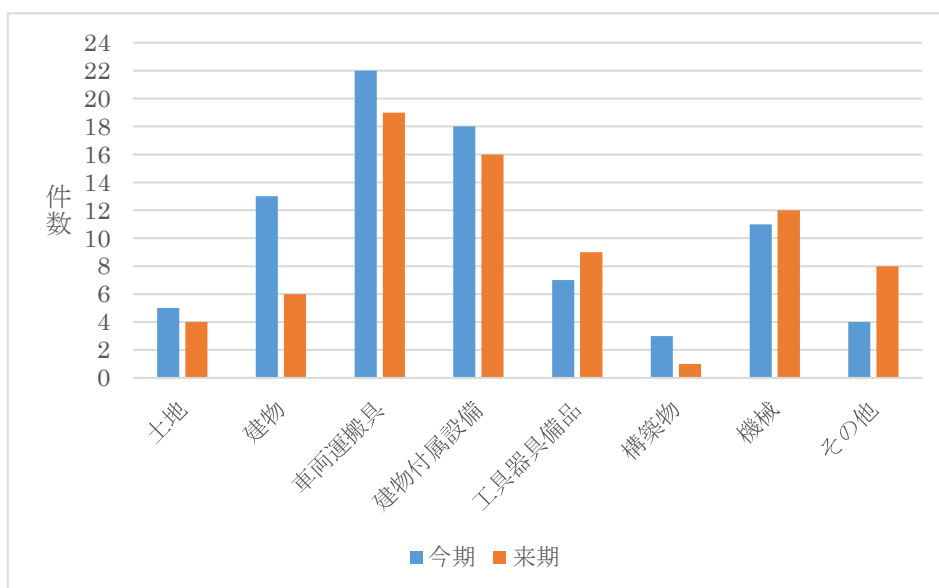
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は45.5%

今期(4～6月)設備投資をした企業は39.0%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は43.1%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 製造業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)	
	値	推移	値	前年実績	推移	値
業況	5.0	↓	▲17.6	【43.8】	↑	▲5.9
売上	▲10.0	↑	11.8	【37.5】	→	11.8
採算	0.0	↓	▲29.4	【25.0】	↑	0.0
原材料	▲70.0	→	▲70.6	【▲75.0】	↑	▲58.8
資金繰り	10.0	→	11.8	【18.8】	↑	17.6
労働時間	▲20.0	↑	0.0	【25.0】	→	0.0
雇用状況	30.0	↓	23.5	【50.0】	↑	29.4

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

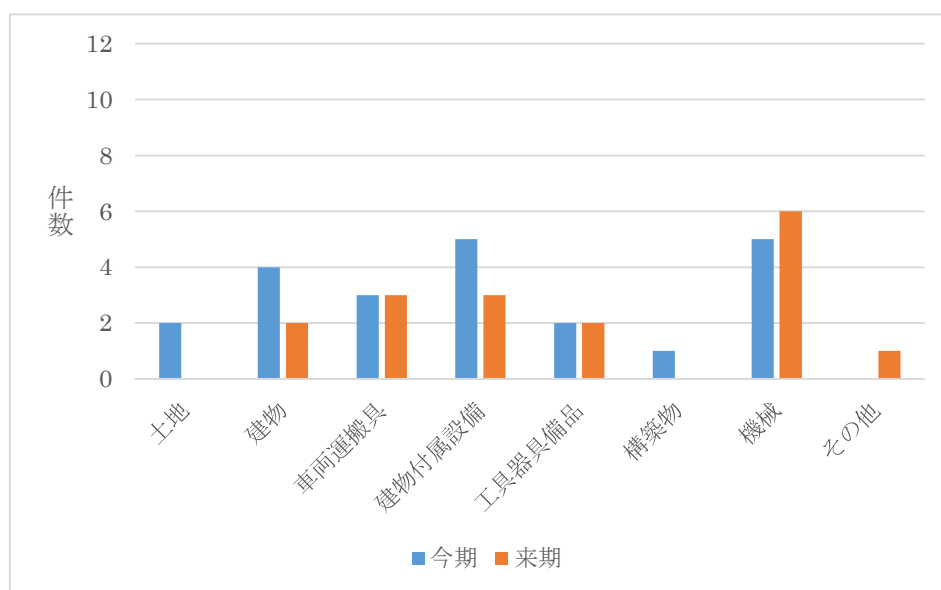
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は65.0%

今期(4～6月)設備投資をした企業は47.1%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は64.7%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 建設業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	7.1	↑	12.5 【▲16.0】	↓	4.2
売上	7.1	→	4.2 【▲20.0】	→	4.2
採算	3.6	↓	▲8.3 【▲36.0】	↑	8.3
原材料	▲57.1	↓	▲79.2 【▲84.0】	↑	▲66.7
資金繰り	▲10.7	↑	4.2 【▲8.0】	→	4.2
労働時間	▲25.0	↑	4.2 【▲8.0】	↑	12.5
雇用状況	39.3	↑	66.7 【44.0】	→	66.7

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

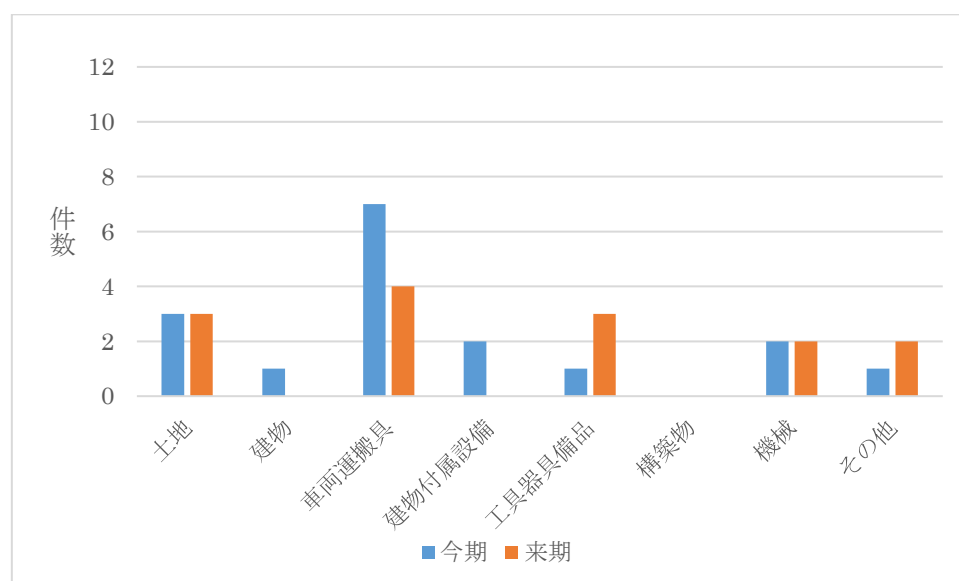
【設備投資調査】

前期（1～3月）設備投資をした企業は60.7%

今期（4～6月）設備投資をした企業は50.0%

来期（7～9月）設備投資を計画している企業は37.5%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 卸・小売業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲18.8	↑	23.8 【▲4.5】	↑	33.3
売上	▲12.5	↑	23.8 【▲4.5】	→	28.6
採算	▲31.3	↑	4.8 【▲31.8】	→	9.5
原材料	▲87.5	↑	▲81.0 【▲95.5】	↓	▲90.5
資金繰り	▲18.8	↑	▲4.8 【▲13.6】	→	0.0
労働時間	18.8	→	19.0 【 4.5】	→	23.8
雇用状況	31.3	↑	47.6 【 31.8】	→	47.6

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

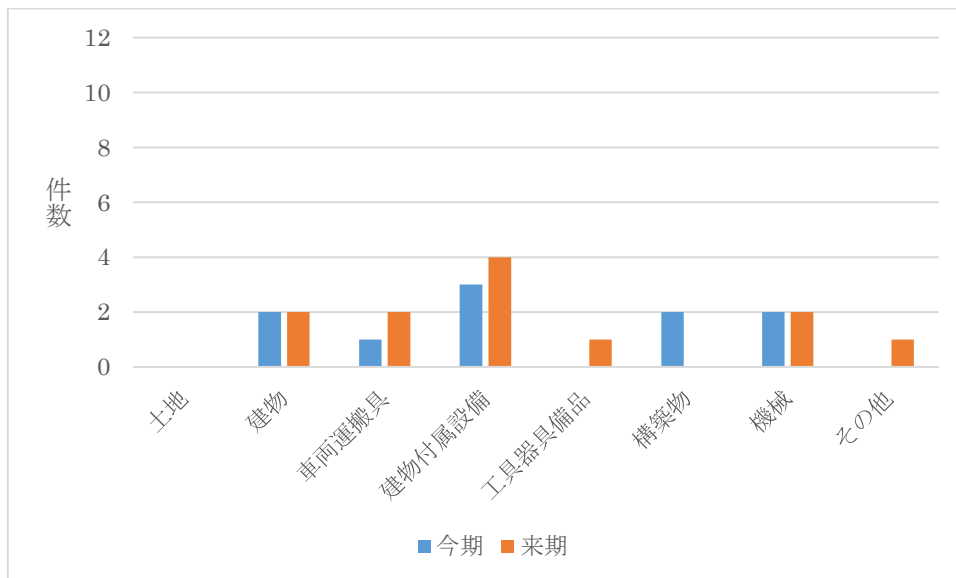
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は25.0%

今期(4～6月)設備投資をした企業は28.6%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は47.6%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 飲食・宿泊業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲21.1	↑	35.0 【29.4】	↓	25.0
売上	0.0	↑	40.0 【29.4】	↑	45.0
採算	▲31.6	↑	30.0 【▲5.9】	↑	35.0
原材料	▲89.5	↑	▲80.0 【▲94.1】	↑	▲70.0
資金繰り	▲26.3	↑	20.0 【0.0】	→	20.0
労働時間	▲36.8	↑	30.0 【17.6】	↓	20.0
雇用状況	21.1	→	20.0 【11.8】	↓	15.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

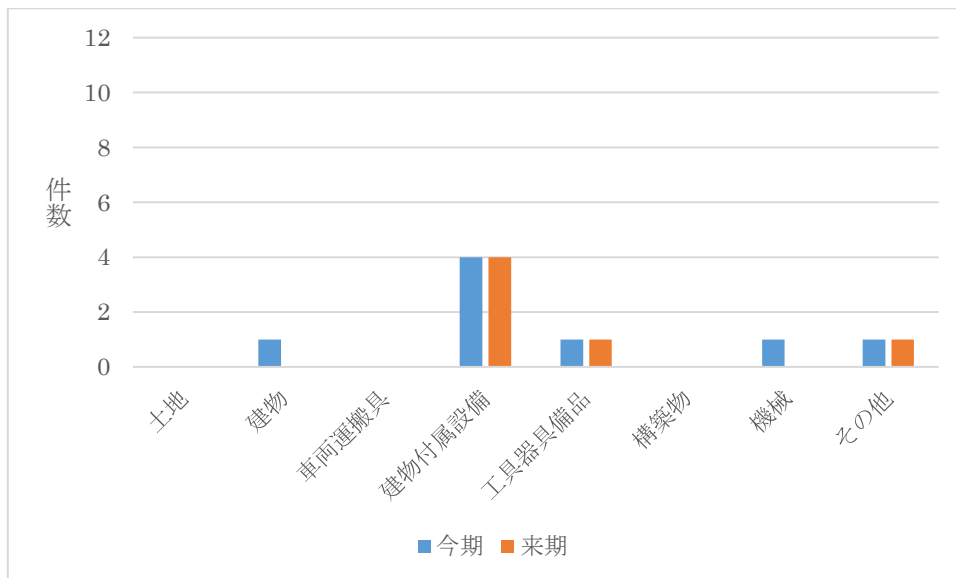
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は31.6%

今期(4～6月)設備投資をした企業は30.0%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は30.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲2.6	→	▲4.9 【20.0】	↑	7.3
売上	5.3	↑	14.6 【17.1】	↑	34.1
採算	▲2.6	↓	▲12.2 【▲8.6】	↑	0.0
原材料	▲55.3	↓	▲68.3 【▲65.7】	↑	▲58.5
資金繰り	▲2.6	→	0.0 【▲5.7】	→	2.4
労働時間	5.3	↓	▲9.8 【0.0】	↑	0.0
雇用状況	26.3	↑	31.7 【37.1】	↓	24.4

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

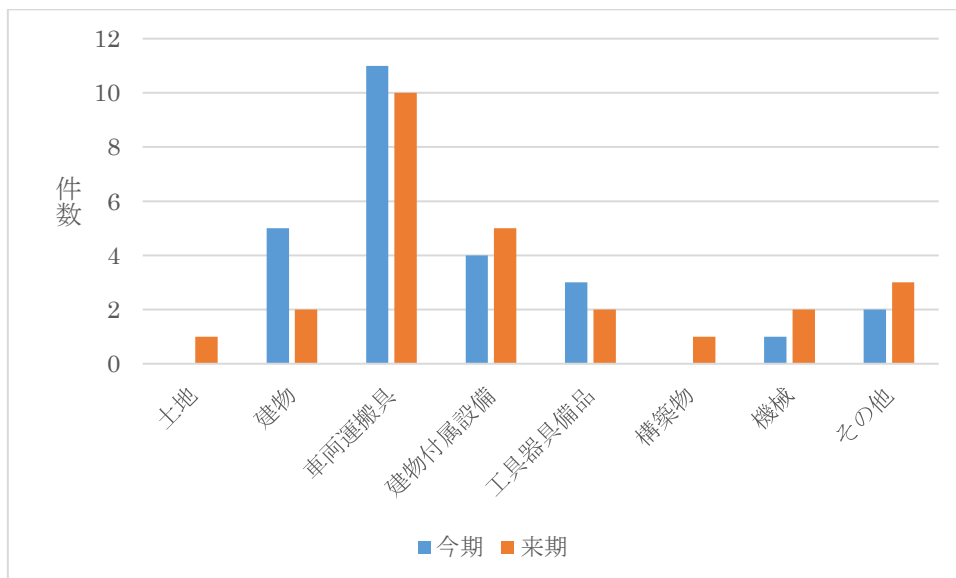
【設備投資調査】

前期(1～3月)設備投資をした企業は38.5%

今期(4～6月)設備投資をした企業は39.0%

来期(7～9月)設備投資を計画している企業は41.5%

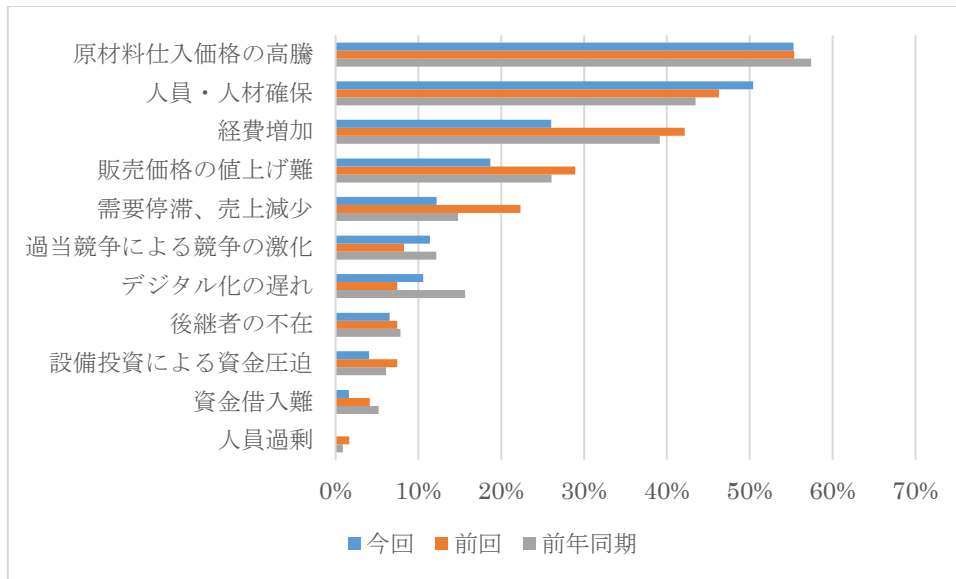
設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査でも、経営上直面している問題点が多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（55.3%）』、次に、『人員・人材確保（50.4%）』『経費増加（26.0%）』が多い結果となりました。

前期と比較すると、『原材料仕入価格の高騰』は0.1ポイント低下、『経費増加』は16.1ポイント低下していますが、『人員・人材確保』は4.1ポイント増加となっています。



《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰
2位	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	販売価格の値上げ難	人員・人材確保
3位	販売価格の値上げ難 需要停滞、売上減少 後継者の不在	経費増加	経費増加	経費増加 人員・人材確保	経費増加

《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	前期実績 (1～3月)		今期実績 (4～6月)【前年実績】		来期予測 (7～9月)
業況	▲9.7	↑	14.3 【35.3】	↑	25.0
売上	16.1	↑	28.6 【41.2】	↑	67.9
採算	▲19.4	↑	7.1 【17.6】	↑	46.4
原材料	▲90.3	→	▲89.3 【▲88.2】	→	▲85.7
資金繰り	▲19.4	↑	7.1 【0.0】	↑	14.3
労働時間	▲16.1	↑	10.7 【17.6】	↑	32.1
雇用状況	▲25.8	↓	▲35.7 【▲35.3】	→	▲32.1

表中の矢印 5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

《 企業の声 》

今回の調査では、全体の景気動向指数をみると、今期実績は上向きの項目が多く、前期に比べ景気が良いと感じる企業が増えている結果となりました。特に、卸・小売業、飲食・宿泊業、観光関連業では上向きの項目が多くみられます。来期についても上向き、もしくは横ばいと予測する企業が多くみられます。

直面する問題点については、前回に引き続き、全業種において「原材料仕入価格高騰」「人員・人材不足」が課題であるという声が多く、「技術者・技能士の人材確保に苦慮している」「従業員の高齢化・新規入職者不足」「最低賃金の上昇に対して扶養控除枠が未だに低く、労働機会が半減されている」などの意見がありました。

省人化・省力化には DX の推進が期待されており、早期対応が必要だと考えます。当所では 11 月後半に日本電信電話ユーザ協会、NTT 東日本と共催し「デジタルツール&ロボット体験展示会（仮称）」を予定しておりますので、ぜひご活用ください。

定額減税制度については、「内容を理解している」との回答が半数以上でしたが、年末調整業務では例年と違う作業がありますので、再度作業手順の確認をお勧めいたします。11 月末には札幌南法人会と共催で「年末調整セミナー」の開催を予定しておりますので、疑問点等がございましたら、お気軽にご参加ください。

その他にもご要望や、経営の困りごとについて多数のご意見が寄せられました。千歳商工会議所では企業ごとの課題解決へ向けて随時相談を受付けており、内容によっては無料の専門家派遣制度も活用いただけます。

また、今後の主な取組のスケジュールは以下のとおりですので興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

創業支援セミナー（特定創業支援事業）	10.21（月）・11.11（月）・11.18（月）・12.2（月）
事業承継個別相談会	11.20（水）・R7.1.22（水）相談受付は随時
年末調整セミナー	11.26（火）
会員企業求人広告掲載	11月～翌1月予定
デジタルツール&ロボット体験展示会（仮称）	11月後半予定

Rapidus 株式会社及び鹿島建設株式会社への会員情報の提供窓口の設置しておりますので取引希望の際は当所 HP からエントリーください。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。
次回調査は令和 6 年 10 月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。